

4月18日(土曜日)「ダビデ(9)王となる」

【新改訳 2017】

II サムエル記5・1-10

「ダビデ王は30歳で王となり、40年間、王であった。ヘブロンで7年6か月、ユダを治め……た。…しかし、ダビデはシオンの要害を攻め取った。これが、ダビデの町である。」(4-7節)

ダビデを王とするという主なる神のご計画は、今ここに成就しました。ヘブロンで(3回目の)油そそぎを受け、ユダの王として7年6か月、それからエルサレムに移って33年、ユダとイスラエル全体の王として、ダビデ王国を築き上げました。

ここでは、2つの点に注目しましょう。①エルサレムに都を移して、シオン(ダビデの町)とともに、ダビデ王朝の極めて大切な基地にしたこと。②ダビデはますます大いなる者となり、万軍の神が彼とともにおられたということです。

ダビデが戦略上たいへん有利な天然の要害の地、エルサレムを選んだということは賢明でした。

しかし、神が彼とともにいてくださったことでこそ、成功の理由だったので、(10節)このことを忘れてはいけません。

～祈り～

主よ。ダビデは、あなたが共にいてくださったことによって、多くの試練、困難を超えて成功者となったことを覚えます。どうか、この小さき者とも共にいてください。

【学びのために】

ヘブロンはエルサレムの南南西30キロの古い町。イスラエル史の中でも重要な地。

シオンは「要害」の意。エルサレムの一部またはエルサレム全体、時にはその住民を指す名称。旧約聖書に152回、新約聖書に7回出てきます（『新約聖書辞典』）。